

子育てネットワーク部会通信

こころをつなぐ

【第5号】

図書館司書から教わる えほんにかんする べんきょうかい

今年度は、「絵本」をテーマに第一回を8月22日に飛騨市図書館で開催しました。今回は部会で初めて、一般の方も参加できる形式で、絵本の選び方や読み聞かせの方法など飛騨市図書館の全面協力で実施しました。

最初に、西倉副館長から、絵本の読み聞かせで育まれるものとして①絵本の世界を楽しむ、感動を共有すること②言語力・読書力の獲得③人間性の醸成などがあると教えていただきました。乳幼児からの読み聞かせが有効という事から、飛騨市ではブックスタート事業が行われているという紹介もありました。読み聞かせ絵本の選び方については、ストーリーのわかりやすさ、声に出して詠みやすいか、絵と物語のイメージが合っているかなどから、赤ちゃんに向く絵本・知識絵本・集団への読み聞かせに適した絵本などがあることをわかりやすく教えていただきました。読み聞かせの方法は、下準備として「すべてのページに開き癖を付けておく」こと、姿勢は「絵本を体の左右のどちらかに構え、手前から奥にページを送る」「送る手の親指に指サック

クをはめる」ことなどのアドバイスをいただきました。必ず下読みし、作品をよく理解し、発声練習を行い、本番を迎えます。大きな声でゆつくりと読むことを心がけ、間違えても大きな影響がない場合はそのまま進めるなど、読み聞かせ方法を説明されました。

説明後、図書館司書からお手本を見せていただき、いよいよ本番。参加者全員がグループに分かれて、自分で選んだ一冊を読み聞かせました。参加者から、「実際に読み聞かせ方法を教えていただき、実演することは緊張しましたが、とても楽しい時間でした」「絵本の良さを再確認できました。」など満足度の高い感想が多くありました。

私も幼い頃、仏壇の前で母に抱かれ「親らん様」の絵本を読んでもらったこと、孫が幼い頃絵本ライブに連れて行った後、その曲が頭から離れなかったこと、孫の託児所クリスマス会で保育士が「はらぺこあおむし」に合わせて実演してくださったこと等、懐かしく思い出しました。本当に楽しい時間でした。

絵本は子どもから大人まで楽しむことができます。これから是非、図書館を利用して、多くのの人に絵本の楽しさを知ってほしいです。

(長瀬)



●本年度の活動報告

☆私たちの取り組み紹介☆

【思い出の絵本展】

私達の活動目的は、飛騨地域の沢山の親子、家族、地域の人々に絵本の楽しさを伝え、夢や希望、想像力を膨らませる心豊かな時間を共有することです。

私たちは絵本に興味をもってもらいたいと、1年を通してめいっぱい！盛沢山のプログラムで地域の親子や多くの人々との繋がりを大切に活動しています。



★会員数 35名
★会員募集中！絵本の好きな人、大歓迎！！

- 春、秋、冬、「出前絵本展活動」…市内3保育園に訪問し絵本ライブ(絵本の読み語り、大型絵本、パネルシアター、手遊び、リズム遊び、マジックショー等)を行う
- 夏、絵本ライブ…子育て支援センターにて吉城高校 YCK 活動の生徒さんと実施
- 秋、「こども絵本縁日」…円光寺にて700人程の親子が絵本ライブ、縁日等で楽しむ賑やかなイベントを開催
- 毎年恒例「思い出の絵本展 2024 えほんの湯」…飛騨市図書館にてまるで絵本のお風呂屋さんにいる雰囲気の中、心温まる絵本を200冊程の展示。保育園年長さんの絵画展示など。古川中学校マイプロジェクトの生徒さんも保護猫のお話を手造り絵本で絵本ライブに参加
- 子どもの読書推進活動…「勝手に絵本大賞！」を設け、テーマに沿った絵本を選出しお便りにして発信

図書館展示「部会員おすすめ絵本」

今年度の部会活動は、勉強会のほか、飛騨市図書館のご協力のもと、絵本紹介の展示を行いました。部会員の皆様にも絵本に基づくコメント、思い出をお寄せいただき、ありがとうございました。



2024年12月、飛騨市図書館にて絵本紹介展示が開催されました。部会員や図書館職員から寄せられたアンケートをもとに、「思い出の絵本」「おすすめ絵本」「好きな絵本」についてのコメントを紹介しました。展示された絵本は42冊。定番の『はらぺこあおむし』や『しんがた』を

はじめ、子どもたちに大人気の『だるまさん』シリーズや、ネットでは話題の『もうじきたべらるる』など、幅広いジャンルの絵本が並びました。

寄せられたコメントには、「小さいころに読んだ」「子どもと一緒に楽しんでる」「忙しいお父さんお母さんに読んでほしい」など、絵本を通じた親子や家族のつながり、子どもへの愛情が感じられるものでした。また、書きのポップも

展示されており、「絵とお話にまつたり癒される一冊」「やさしい涙が出てくる、せつなくも心温まるお話」などのコメントが添えられ、子どもだけでなく、大人が手に取って絵本を眺める光景も多く見られました。40冊ほどの貸出しもあり、来館者の目を引く展示でした。

(飛騨市図書館 西倉)



子どもたちに絵本をー

コロナ禍以降、ウイズコロナ・アフターコロナと少しずつ段階を経てはきていますが、以前の生活や人との付き合い方が多少なりとも違ってきたと思うのは私だけではないかと思えます。以前にも増して人との関係が希薄になってきたこの頃。でも、子育てに関してはやっぱりそんな事ではやっていけません。そんな思いを持ちながら子育てに関わる人達の繋がりになればと行っている「子育てネットワーク部会」。年に1〜2回の会合や研修会ではどれほどの力があるのだろうかと思いつつも、顔を合わせて同じ空気の中にいて一緒に考えたり作業を進めたり、同じ思いの人がいるんだなあと感じたり：少しづつでもやっぱり繋がる大切さを思います。

今年度は「絵本」をテーマにした研修会。今はユーチューブやインスタグラムなど子どもたちの周りにはいろんな情報が溢れています。絵本も電子図書など、買ったり借りたりしなくても見たい本・欲しい本が直ぐに手に入ります。まず、何かをじっくり読むという行為自体が行われているのでしょうか？ いろんなメディアが沢山ある中、特に子どもとのステキな関係を築くには絵本は重要なツールの一つだと思います。子どもは好きになると何度も繰り返し同じ本を読んで欲しいと持ってきます。読む方が飽きてしまうほど、本人も丸暗記で覚えてしまうほど、何度も何度も…。そうして絵本の中に自分も入り込んで一緒に楽しんでるのでしよう。それはずーっと忘れられない思い出で、いくつになっても大人になってもフツと思ひ出されることがあります。それが自分の子どもの頃の事であったり、自分が親として読んでやった事であったり…。そんなホッと気持ち温かくなるような思いが一つでも二つでもあると、人は前を向いていけるのではないのでしょうか。どうぞ子どもたちが大好きな「絵本」と出会うような機会がたくさんありますように、そう願っています。

(大坪)